

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
ポリエチレン	9002-88-4	6-1	99wt%以上

4 応急措置**ばく露経路による応急措置**

吸入した場合	外観が袋のため吸入の恐れはない。
皮膚に付着した場合	特になし
眼に入った場合	眼球、眼瞼を良く水で洗い、異物を取り除く。
飲み込んだ場合	本人が自発的に吐くことが可能ならば吐き出させる。 直ちに医療処置を受ける手配をする。

予想される急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置**適切な消火剤**

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散した物を掃き集め、空容器等に回収する。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

高温の熱源、火源との接触は禁止。

成型袋に乱暴な扱い（落下、衝撃、引きずる等）をしない。

充填液の温度は60℃以下を推奨とする。

充填液の性質に対する適正は担当営業、前項記載の担当部署へ問い合わせる。

接触回避

情報なし

衛生対策

情報なし

保管

技術的対策

梱包ケースの水漏れ、多湿環境、過大な積み重ねは荷崩れを起こす可能性がある。

混触禁止物質

情報なし

保管条件

高温、多湿を避け室温で保管する。直射日光は厳禁。

原則として、6ヶ月以内の使用を推奨とする。

容器包装材料

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV

設定されていない。

日本産業衛生学会

設定されていない。

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	必要に応じて保護手袋を着用する。
目の保護具	必要に応じて保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン、安全靴、ヘルメット等を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	単一容器
臭い	情報なし
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	90～130℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	あり
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
密度	0.90～0.95 g/cm ³
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	> 400℃（推定値）
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	300℃以上の高温において分解し、炭化水素及びその酸化物（アルデヒド・酸・アルコール等）を生成する。
避けるべき条件	高温、多湿を避け室温で保管する。直射日光は厳禁。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素及びその酸化物を生成する。

11 有害性情報

製品の有害性情報	情報なし
----------	------

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従い焼却又は埋め立てを行う。地方自治体の規制がある場合は、それに従うこと。

汚染容器及び包装

情報なし

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	消防法に従う
海上規制情報	該当しない

海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

消防法	指定可燃物 合成樹脂類（指定数量 3,000kg）
食品衛生法	適合（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）

16 その他の情報

参考文献

積水成型工業株式会社提供資料

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。